

平成22年度 ほくぎん若手研究者助成金 研究実績報告書

氏名	所属・職名		助成金額
北村 能寛	経済学部・准教授		300,000 円
研究課題名	市場期待の計測方法に関する研究:外国為替直物市場を事例として		
研究の概要	<p>外国為替直物市場の市場参加者の期待を、日次、日中ベースでリアルタイムに計測することを目的とした研究を行う。外国為替市場に対して介入政策などを実施する通貨当局は、市場がどのような状態にあるのかをより正確にリアルタイムで把握することが必要である。そこで本研究は、市場期待に関する情報をリアルタイムに提供する計量経済モデルを開発することで、通貨当局のより効率的な介入政策の実現に貢献することを目的とする。また、たとえ介入政策が行われなくとも、市場が如何なる状態にあるか(市場が何を考えているか)といったことを把握することは、金融政策全般にとっても必要不可欠なことである。</p>		
研究の成果	<p>近年、市場期待を為替レートに反映させる役割を果たすと考えられてきたオーダー・フローのその役割が低下していることが、ここ数年のデータセットを用いた実証分析より明らかとなった。このことは、オーダー・フローは市場期待を伝達する要素とそれ以外の要素(ノイズ等)で構成され、前者が後者に支配されていることを推測させる。そこで、今後はオーダー・フローの要素別分解方法についての研究を中心に行い、その分解から市場期待を抽出することを試みる。そうすることで、観察されたオーダー・フローから市場期待と知ることが可能となり、適切なタイミングでの政策発動もしくは適切な政策の立案への貢献が期待される。</p>		
研究成果発表状況	<p>以下2論文を作成し国際専門誌での発表を目標としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Informational linkage between the major currencies in the EBS market:Evidence from the Euro,Yen and Swiss franc spot rates. (単著) 2. Effect of exchange rate return on volatility spill over across trading regions. (共著) 		
経費の執行状況	区分	執行額(円)	備考
	ICAP 為替取引データ	300,000	